

1. 学校名

葛飾区立北野小学校

2. 令和7年度の活動目標

総合的な学習の時間や児童会活動を通して、高齢者や障がいのある方と接する機会をもち、ボランティア活動への理解や関心を高める。様々な体験を通して、思いやりの心を育み、地域社会の一員として共に協力して生活していくことの大切さを実感させる。

3. 活動の様子



10月認知症サポーター養成講座



12月「夢をあきらめない」講演



1月手話体験



1月車いす体験



2月点字体験

○認知症サポーター養成講座

講師の先生に認知症について教わりました。

認知症のことを知るだけでなく、病気の人や障害がある人の気持ちや接し方について学びました。

○「夢をあきらめない」講演

アテネパラリンピック金メダリストの高橋勇市さんに来ていただき全盲になるまでの時や、メダリストになった時の体験の話をしてもらいました。その後、走り方講座をしてもらいました。

○手話体験

耳が聞こえない方が困ることを知ったり、あいさつや自分の名前の言い方を教えてもらったりしました。手話がわからなくても相手に伝える方法も学び、意欲的に学習していました。

○車いす体験

車いす利用者の下山利博さんにお越しいただき、お話を聞いたり、車いすの乗り方や押し方を教えていただいたりしました。子どもからも質問がたくさん出て活発な体験会になりました。

○点字体験

一人一つずつ点字を作る道具を貸していただき、意欲的に取り組むことができました。点字のルールを知り、表を見ながら、点字で何が書いてあるかを素早く答える子供たちがたくさんいました。

4. 活動の成果

・認知症サポーター養成講座では、高齢者への理解、将来の高齢者問題に気付き、手話体験や体験、点字教室では、社会福祉協議会から講師を招き、体験活動を通して、福祉について調べたり考えたりしようとする地域の中で支え合いながら生活していくことの大切さを学ぶことができた。

・社会福祉協議会や学校地域応援団、地域の方々等との連携・協働により、限られた時間の中で、学習を展開することができた。地域の人材や施設、取組などを福祉教育の教材化には、社会福祉協議会の協力が重要と感じた。